

心昂ぶる**ブッチギリ**の走り

未踏の領域へ

シビックのポテンシャルをどこまで引き上げることができるか。
今回のチャレンジは、その一言に尽きます。
欧州の人々に広く親しまれている5ドア・ハッチバックをベースに、
シビックならではの優れたパッケージングを活かしながら
歴代のシビックTYPE Rが極めてきた動的性能を、一段も二段も超えた
未踏の領域へ引き上げたいと考えました。
目標として掲げたのは、FF量産車最速。
達成させる舞台は、ドイツのニュルブルクリンクと決めました。
求めたのは、300馬力を超える驚異的なパワー。
その力強さを余すことなく路面に伝えるシャシー性能。
最速のために突き詰めたボディー剛性や空力性能。
こうした圧倒的パフォーマンスと同時に、
どの速度域でも優れたハンドリングを確保するための
高次元ドライバビリティを両立させることが、目標達成には不可欠でした。
ニュルブルクリンクでのラップタイム=7分50秒63とともに、
最高速度=270km/h、0-100km/h加速=5.7秒という
いずれもFF量産車最速*を達成。
この突き抜けるほど圧倒的な“ブッチギリ”の走りを生む
異次元のポテンシャルを獲得したことで、
サーキットのみならず街中や高速道路、ワインディングに至る
あらゆる速度域で、心昂ぶる乗り味を実現しています。

※開発車のテスト走行による。Honda調べ(2015年10月)

CIVIC TYPE R

圧倒的
パフォーマンス
(高次元の限界性能)

ニュルブルクリンク
最速ラップタイム

FF量産車
最速*

最高速度

最速0-100km/h加速

全速度域
高次元ドライバビリティ
(優れたハンドリング)

シビックとしての潜在価値
パッケージング・使い勝手・安全性能・環境性能

